HITACHI

未来へ、つづく。

初めは見上げるほど遠くにあったものが、
　長い階段をのぼっていくときのように、だんだんと手の届くところへ近づいてくる。
人類の夢と、それにひとつづつ応えてきた技術の進歩について、そんなことが言えそうです。
　この絵は、少年CG(コンピュータ・グラフィック)アーチスト、
瀧本大介くんが、小学6年生の時に描いてくれた「宇宙旅行」。
　大介くんがおじいちゃんか、ひいおじいちゃんになる頃には——。
夢を見る力。夢を叶える力。未来へ、つづく。日立です。

もういくつ寝ると、宇宙旅行。

人と技術の理想をめざす

Interface

株式会社 日立製作所

第15回世界選手権大会誘致運動開始

去る、6月26日に開催された平成5年度第1回評議員会に於て1997年の世界選手権大会(男子)誘致運動に着手することが全員の賛成を得て決定した。

本大会は世界のトップ24ケ国が集い2年に一度開催されるハンドボール界の最高のイベントである。

尚、今回は開催を強く希望する熊本県を対象として誘致運動に入るが、この大会がヨーロッパを離れるのは初めてであり、もし実現すれば日本ハンドボール協会創立以来、最大のイベントとなる。

8月度 行事予定

大会

7/31～8/2	第6回全国小学生大会	京都府田辺町中央体育館
8/2～8/7	第44回全日本高校選手権	栃木市総合公園
8/9～8/11	第20回全国高専選手権	境港市民体育館
8/9～8/13	第36回全日本教職員選手権	豊田市体育館他
8/20～8/22	第22回全国中学校大会	生駒市総合公園体育館

ナショナルチーム

男子A

7/23～8/13	海外特別強化合宿	ドイツ他

女子A

8/5～8/16	アジア選手権直前合宿	北國銀行
6/16～8/27	アジア選手権大会	中国汕頭

女子ジュニア

8/23～8/25	世界ジュニア選手権直前合宿	東京女子体育大学
8/26～9/1	〃 〃	チェコ

CONTENT

写真提供:(株)スポーツイベント

男女の海外派遣選手団決定

男子ナショナルのヨーロッパ遠征派遣選手団と第9回女子ジュニア世界選手権大会参加メンバーが決まった。

男子ナショナルは、すでに7月23日に日本を発ち、フィンランド、ドイツ、デンマークの各国を転戦中で、8月13日に帰国予定となっている。女子ジュニア世界選手権大会は9月にブルガリアで開催されるが、どんな戦績を残してくれるか期待が集まる。

男子ナショナル ヨーロッパ遠征派遣選手団

	氏名	生年月日	所属
監督	蒲生　晴明	1954. 4. 5	大同特殊鋼
コーチ	関　健三	1955. 1.24	三陽商会
ドクター	河野　卓也	1956. 4.17	横浜港湾病院

選手	氏名	生年月日	身長	体重	所属
G・K	橋本　行弘	1965. 9.17	185cm	80kg	本田技研工業
	林　康一	1967. 3. 3	181	75	大同特殊鋼
	河野　裕光	1969. 6.16	186	84	湧永製薬
C・P	魚住　和彦	1966.10.24	188	78	大崎電気工業
	梅基　幸一	1967. 2.25	182	72	本田技研工業
	末岡　政広	1967. 9. 1	176	74	大同特殊鋼
	田中　茂	1967. 9. 2	182	76	三陽商会
	高木　浩司	1967. 9. 7	182	69	中村荷役運輸
	渡辺　浩	1967.10.20	182	72	三陽商会
	三輪　澄高	1968. 1.31	188	80	トヨタ自動車
	林　昌英	1968. 7.31	181	65	日新製鋼
	田中　雅彦	1968. 9.21	185	80	湧永製薬
	源内　利之	1968.10.12	182	73	日新製鋼
	平松　茂雄	1968.10.27	181	67	本田技研工業
	中山　剛	1969. 7. 4	191	75	湧永製薬
	佐藤壮一郎	1969. 8. 7	178	73	大同特殊鋼
	高田　浩志	1970. 2.10	180	76	湧永製薬
	岩本　真典	1970. 9.28	197	80	三陽商会
	永山　強	1971. 9. 9	178	67	順天堂大学

第9回女子ジュニア世界選手権大会参加メンバー

監督	高野　亮	
コーチ	田中　俊行	
選手	友貞　由美	大阪体育大学
	中井　美世	武庫川女子大学
	荒川　裕子	大和銀行
	上出　恵美子	北國銀行
	松本　恵美	日立栃木
	稲次　彩	筑波大学
	山崎　智美	北國銀行
	森川　直子	プラザー
	芦ケ谷登美子	シャトレーゼ
	伊佐野　美保	日立栃木
	神津　奈美	東京女子体育大学
	山川　由加	プラザー
	小松　真理子	北國銀行
	田中　美音子	大和銀行
	田中　美代子	北國銀行
	野村　奈美	大和銀行

インターハイの組み合わせ決定

8月2日から栃木市で開催される第44回高校選手権大会の組み合わせが、別掲の通り決まった。男女とも8月2日から5日までは栃木市総合運動公園多目的広場で熱い戦いが繰り広げられ、6日と7日の準決勝・決勝は栃木市総合体育館で覇を競う。

男子の部

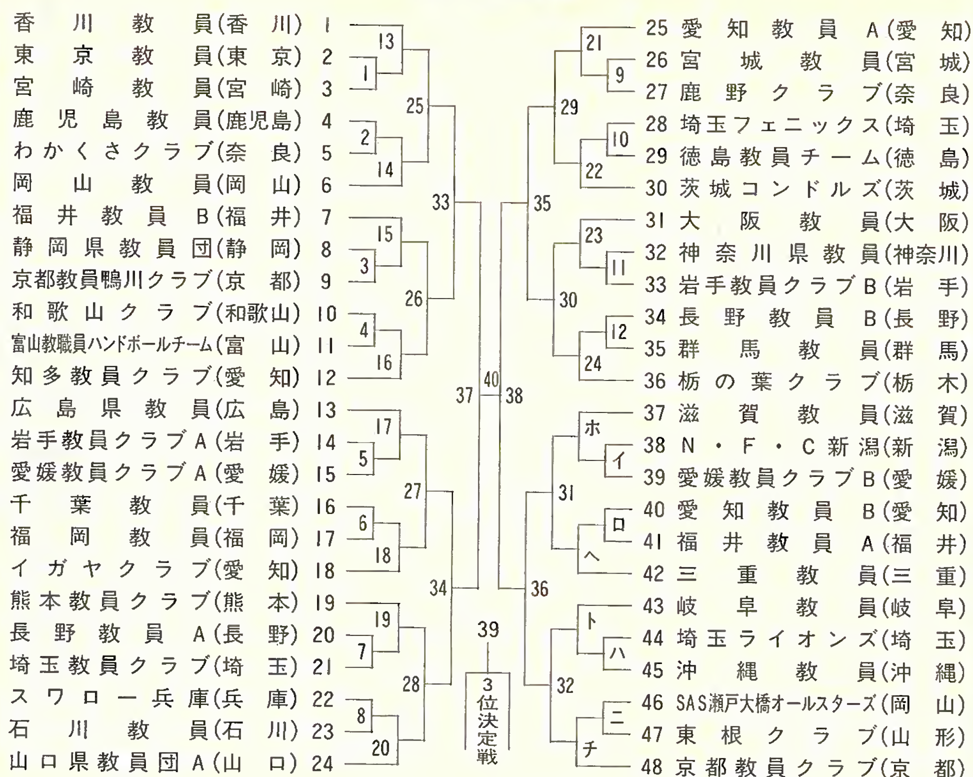
No.	学校	都道府県	No.	学校	都道府県
1	熊本市立商業	熊本	25	興南	沖縄
2	県立長浜北	滋賀	26	北海道釧路江南	北海道
3	県立境港工業	鳥取	27	県立四日市工業	三重
4	県立香川中央	香川	28	県立北村山	山形
5	浦和学院	埼玉	29	県立小山南	栃木
6	県立新潟江南	新潟	30	県立明石清水	兵庫
7	県立清水東	静岡	31	久留米工大附	福岡
8	大分電波	大分	32	修道	広島
9	金沢市立工業	石川	33	県立氷見	富山
10	県仙台南	宮城	34	市立岐阜商業	岐阜
11	県立守谷	茨城	35	県立青森商業	青森
12	県立粉河	和歌山	36	県立富岡	群馬
13	岡崎城西	愛知	37	土佐	高知
14	県立江津	島根	38	県立下松工業	山口
15	拓大一高	東京	39	県立都城工業	宮崎
16	県立新居浜工業	愛媛	40	桐光学園	神奈川
17	県立鹿児島工業	鹿児島	41	北陸	福井
18	県立盛岡第一	岩手	42	府立北嵯峨	京都
19	県立富雄	奈良	43	駿台甲府	山梨
20	國學院栃木	栃木	44	県立総社	岡山
21	県立屋代	長野	45	県立池田	徳島
22	県立神崎	佐賀	46	県立羽後	秋田
23	学法石川	福島	47	長崎日大	長崎
24	二松学舎沼南	千葉	48	桃山学院	大阪

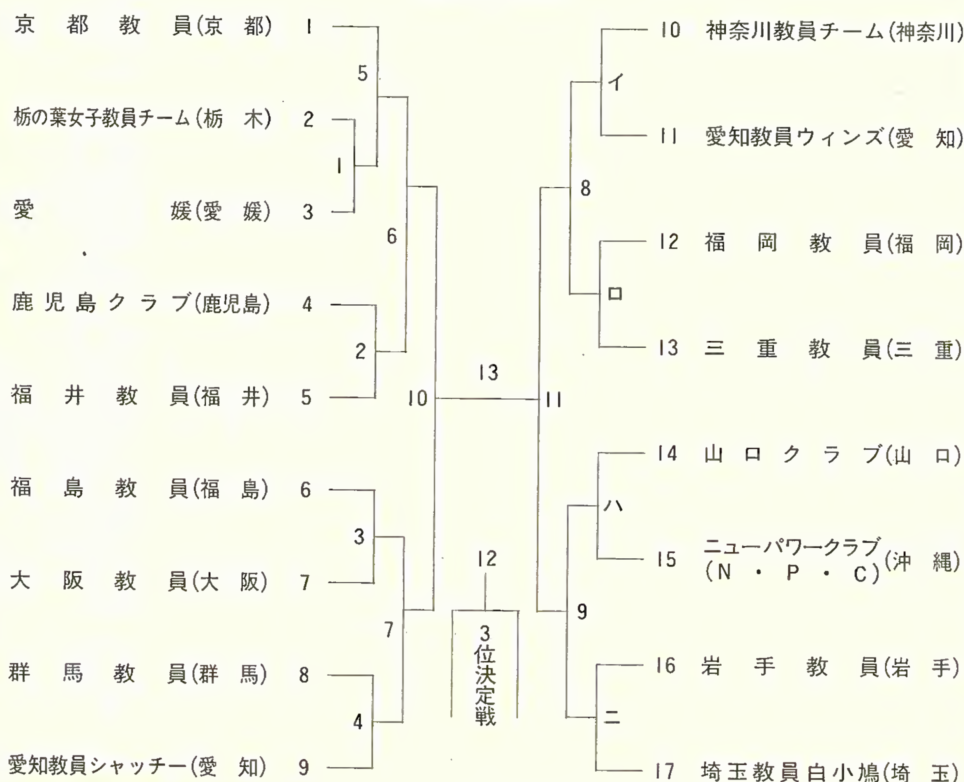
女子の部

No.	学校	都道府県	No.	学校	都道府県
1	名古屋短大附属	愛知	25	県立盛岡第二	岩手
2	四天王寺	大阪	26	夙川学院	兵庫
3	筑紫女学園	福岡	27	県立高知南	高知
4	明倫	神奈川	28	県立水海道第二	茨城
5	県立郡山女子	福島	29	熊本女子商業	熊本
6	県立高松商業	香川	30	山陽女子	広島
7	県立北村山	山形	31	暁	三重
8	群馬女子短大附	群馬	32	県立神埼農業	佐賀
9	県立福井商業	福井	33	浦和実業学園	埼玉
10	県立岩国商業	山口	34	県立氷見	富山
11	県立那賀	和歌山	35	県立青森西	青森
12	県立大分東	大分	36	県立栃木女子	栃木
13	聖和女子学院	長崎	37	県立コザ	沖縄
14	県立小山西	栃木	38	東邦大附属東邦	千葉
15	北海道釧路湖陵	北海道	39	県屋代	長野
16	県立今治北	愛媛	40	県立城北	徳島
17	県立浜田商業	島根	41	県立養老女子商	岐阜
18	県立八日市	滋賀	42	府立洛北	京都
19	清水市立商業	静岡	43	県立添上	奈良
20	県立玉野光南	岡山	44	県立大島	鹿児島
21	佼成学園女子	東京	45	県立大曲農業	秋田
22	聖和学園	宮城	46	県立山梨	山梨
23	県立新潟江南	新潟	47	県立境	鳥取
24	県立本庄	宮崎	48	県立小松商業	石川

第36回全日本教職員選手権大会組み合わせ

8月8日から13日まで愛知県下で行われる第36回全日本教職員選手権大会の組み合わせが決まった。この大会は、第49回国民体育大会リハーサル大会として、豊田市体育館、知立市福祉体育館などで熱戦が展開される。





西山清選手新記録達成

おめでとう612点、西山さん

広報委員　臼井　鉄久

定評のあるコントロールが微妙にずれている。ペナルティーシュート2本を含めて、放ったシュート3本が全てバーの上側に直撃する不運が続き、ゴールを割らない。

試合後の記者会見などでも「意識はしていなかった」というが、ペナルティーは明らかに肩に力が入り過ぎているのが分かる。「皆に迷惑をかけるかもしれないが、今日は絶対（新記録を）決めたいんだ」とミーティングでこう発言。まさに予告ゴール。「とにかく早く決めないと、尾をひいてしまう」。結局（記録を）達成するまでは自分にパスが集中し、チーム本来の動きがとれなくなってしまうからだ。

このところリリーフ役として後半に登場するケースが多かったが、この試合は1度ペナルティーに登場した後、前半17分過ぎに再登場したが、特に西山さんにパスを集中させる、といった雰囲気はあまり感じられなかった。（西山さんなら）すぐに決めてくれるという周囲の信頼があるのだろうか。

3本目のペナルティー、待望の得点が決まり大いに沸く。前2本に比べると肩の力が抜けているようだ。

その後、左45度からミドルを放つが、キーパーに右手ではじかれる。結局前半は1点で終了。

そして後半の5分過ぎ、待ち望んでいた得意の左45度からの引っ張りのカットインが決まり、リーグタイ記録。これですっかりタイミングをつかんだのか、1分後に中央からのミドルがキーパーの足下を抜くと、蒲生現全日本男子監督の持つリーグ通算得点記録611点を更新した。この瞬間を待ち望んでいた超満員のスタンドの大歓声に包まれながら、応援団からの垂れ幕が開き、花束贈呈のセレモニーで試合は一時中断される。

「得意のシュートで決めたかった」と試合後語ってくれたように、タイ記録はカットイン、新記録はミドルシュートで、しかもコースは引っ張り。点取り屋としてのこだわりからの達成で、大満足だった。

ロサンゼルス・オリンピック前、「蒲生二世じゃなく、西山一世ですよ」と言った言葉を思い出したが、今まさに名実ともにその時がやって来た。「（蒲生さんとは）体格もプレースタイルも異なっているから、比較されるのがおかしい」と。

しかし、この言葉の裏には、あくまでも自分は西山なんだというポリシーが潜んでいる。

記録は破られるためにある。これも一理あるが、プロ野球の王貞治元巨人軍選手が達成したホームラン記録のように、不世出の大記録を作ってほしい。西山さんにとってだけではなく、今後のハンドボール界のためにも、よりハイレベルで、どんなに追っても追い切れないものを。今期からは監督との二足のワラジを履き、チーム中心に物事を考えなくてはならないが、まだベンチで采配をふるうだけの西山さんを見たい人はいないはずだ。

これからも好きな言葉である「意欲」あふれたプレーで記録を積み重ねていってほしい。

世界学生選手権の得点王という「勲章」をぶら下げて日新製鋼入りした日本リーグのデビュー戦で、いきなり終始マンツーをつけた大同特殊鋼も、当時からニューヒーローの出現を感じ取っていたに違いない。

それにしても、これほどのスター選手でありながら、おごり高ぶったところが全くみられないのも西山さんの魅力のひとつではないかと思う。今回も盛んに会社や周りのメンバーに恵まれた、と常に相手を思いやることも忘れない。もしもハンドボールをやっていなかったら、普通の会社員、ただのオジサンですよと語ってくれた西山さん。時代劇やお笑い、スポーツ番組を見るのが好きだという。そんな素朴な姿に好感を持つ人も多いはずだ。

西山さんにサインを貰ったファンが飛び上がって喜んでいたのを目にし、自分までうれしくなってしまった。

「とにかくニシに通算記録をとってほしいんだ」

以前こんな話をスタッフの方から聞いたことがある。胴上げもテレビカメラに囲まれると「落とすなよ」とチームメイトに言いながら再び行ってくれるサービス、何となく日新製鋼というチームワークの良さが感じられた。

新記録を達成した今、日本リーグ初制覇が夢という。とにかくハンドボールが全てで他のことは考えられないようだ。

本当におめでとうございます。そして夢をありがとうございました。

1993年6月20日、福岡での対三陽商会戦の出来事だった。

西山清得点全記録

●第7回

対大同	3	本田	7
湧永	6	大崎	7
大崎	7	湧永	10
大イ	8	大イ	9
本田	4	大同	11
合計	72	（通算72）	

●第8回

対湧永	4	三陽	10
大崎	8	湧永	8
三陽	12	大同	8
本田	9	本田	7
大同	1	大崎	14
合計	81	（通算153）	

●第9回

対三陽	3
湧永	5
大同	4
大崎	6
本田	9
合計	27
（通算180）	

●第10回

対大崎	6	大崎	8
湧永	5	湧永	8
三陽	10	三陽	8
本田	9	本田	6
合計	60	（通算240）	

●第11回

対本田	6	本田	6
三陽	8	大崎	4
湧永	6	三景	6
三景	4	三陽	6
大崎	6	湧永	5
合計	57	（通算297）	

●第12回

対湧永	4
大崎	7
トヨタ	2
大同	7
本田	6
合計	26
（通算323）	

●第13回

対大崎	7	三陽	9

新記録おめでとう

日新製鋼ハンドボール部総監督　**泉　喜久男**

「西山君、新記録おめでとう。」ようやく達成できましたね。

日新製鋼のチームメイトの一人として、本当に嬉しく思っています。

思い出せば、昭和57年の入社当時は、その群を抜くシュートスピードに大変驚いた事を覚えています。また、新人としてリーグ緒戦の対大同戦に於いてゲームスタートからマンツーマンをされた事は、その力量の素晴らしさを物語っていると思います。

以来今日迄、11年余りに亘り日新チームのエースとして、またある時期は、全日本のエースとして、相手チームの激しいマークをかいくぐって得点を伸ばし、大きな故障もなく、よく頑張ってきたと思います。

人はとかく年齢イコール体力と考えがちですが、西山君の運動能力にはその言葉は当てはまりません。34歳という年齢は西山君にとっては、何の参考にもならない事は、付き合う程につくづく感じています。それどころか、年が経つ程にそのテクニックに幅が出て来ているのではないかと思っている程です。

私は、この新記録は西山君にとっては、一つの通過点にすぎないと思っています。又、周囲の方々もそう願っている筈です。是非共、次は700点を達成して貰いたいと思いますし、君ならば出来ると信じています。

勿論、得点するということはチームメイトの力の結集であることは常々君が言っている通りであります。従って、この記録は個人はもとより、チームとしても大変名誉なことだと思います。

スポーツマンとしては、プレーしている時が一番である事を、そのプレーをやめて初めて実感するものだと思います。しかし、今の西山君は、それは早過ぎると思います。新記録達成で、一つの節目を越えた今、前人未踏の道を進む西山君に贈る言葉として、ここまでチームの牽引役を果たしてくれた事に感謝すると共に、これからもプレーイングマネージャーとして大変だと思いますが、年齢的にはマネージャーとして、体力的にはプレーヤーとして更に大きくなって欲しいと言うことです。

最後に、これまで君を育てて戴いた恩師の方々、諸先輩の方々の多大なご助力に対し、チームの一員として厚くお礼申し上げます。また今後共西山監督率いる日新製鋼チームにご支援賜ります様、よろしくお願い致します。

おめでとう西山選手

蒲生　晴明

日本全国のハンドボールファン、そして各マスコミが待ちに待った日本リーグ通算得点新記録「612得点」。本当におめでとうございます。

私も同じ経験をしているわけですが、個人の得点記録はチームの記録であると思います。その意味で、日新製鋼チームのメンバーの汗と努力の結果であって、それを支えて下さった会社の方々の支援・応援の賜物です。どんなに個人で

本田	7	湧永	5
三陽	7	大崎	9
湧永	5	本田	6
大同	4	大同	11
合計	70（通算393）		

●第14回

対本田	7	大崎	6
三陽	6	本田	10
湧永	3	大同	3
大崎	7	湧永	8
大同	4	三陽	6
合計	60（通算453）		

●第15回

対本田	5	本田	4
三陽	5	トヨタ	0
湧永	2	大同	2
大同	2	湧永	5
トヨタ	1	三陽	5
中村	6	中村	9
大崎	3	大崎	2
合計	51（通算504）		

●第16回

対大崎	1	三陽	3
本田	3	中村	2
中村	2	三景	―（未登録）
三景	2	大崎	2
湧永	2	湧永	3
三陽	5	大同	3
大同	3	本田	1
合計	32（通算536）		

●第17回

対中村	1	大同	7
湧永	4	大崎	1
大同	7	トヨタ	11
トヨタ	4	本田	4
本田	3	中村	8
大崎	7	三陽	6
三陽	6	湧永	2
合計	71（通算607）		

●第18回

対本田	0		
大崎	2		
三陽	3		
合計	5（通算612）		

6月20日現在

※注　大イは大阪イーグルス

頑張っても、よいパスやブロック、そしてよい環境がなければ、成し遂げられないと思います。会社あげけのこの金字塔に拍手を送ります。今後も監督として、選手として、日本全国のハンドボールファンに、すばらしいパフォーマンスを長く見せて下さい。

日本リーグ通算得点

新記録を達成して

私の拘りと今後目指すもの

　第18回日本ハンドボールリーグを前に、私自身様々な不安があった。まず一つは、監督としてチームを纏めること。二つ目は、選手としての意識の持続と〝どうしても成し遂げたい目標〟。そして、三つ目は監督と選手の両立である。私自身起用な人間ではないので、この三つの立場は先が見えないものばかりだった。こんな私自身の精神状態を察してか、企業として、現状ではこれしかないスタッフの人選をして頂いた。その一つが湯中ヘッドコーチの異例とも思う抜擢、そして二つ目が日野マネジャーの残留である。

　昨年までチームのマネジャーとしてその手腕を発揮していた湯中ヘッドコーチと、引き続きマネジャーをやることになった日野マネジャーである。この2名は、選手への人望も厚く、又何よりもその明るいキャラクターがいい。選手だけでなく、私自身の気が滅入ったときの良き相談相手であり、兄貴分として大変心強い存在である。こうした配慮の中、私自身の日本リーグでの目標は決まった。まず、日本リーグ通算得点新記録達成、それを目指す。チームのためにも。

　こうして第18回日本リーグを迎えた。

　新記録を意識したころから、私自身の思いの中に記録達成の時の得点は、自分の一番得意なシュートで決めたいと思っていた。現実、現記録前のシュート（610得点目）がペナルティーシュートで引っ張り上、現記録に並ぶシュート（611得点目）がカットインから引っ張り下、そして新記録達成のシュート（612得点目）がミドルシュートの引っ張り下、私自身の最も得意としているプレーがこの3得点に集約表現することができた。もちろん、この他にも私自身の好きなプレーやシュートはあるが、中学校2年の12月24日からハンドボールを始め、高校・大学・そして実業団まで約20年間やってきたプレーの核的存在が引っ張りのシュートと言っても過言ではない。とにかく〝引っ張りしかない西山〟と呼ばれるくらいだった。

　今、思ってみると私自身この引っ張りのシュートに対して非常に拘っていたような気がする。悪く言えば多少意地っ張りの所が有ったのかもしれない。でも、この拘りが今までハンドボールができ、又今回の新記録達成を成し遂げた最大の要因のような気がする。例えば、同じ引っ張りへのシュートを打つ時でも、放つタイミングやフォーム（肘・肩の使い方等）、そして、スピード・パワーアップのためのトレーニングを私なりに考え実施できたと思う。

　又、今までもそうであるが、スランプになった時や、ケガのためしばらく休んだ時の場合でも、まず自分の得意なプレーの立て直しから入るようにしている。誰でもそうだと思うが、自分のキーになっているプレーがあると思う。それが崩れるということは、自分のプレーが崩れる可能性が高いと私は思う。

　つまり、自分自身、レベルアップを図りたいのなら自分のプレーの核、一番好きで得意なプレーを見いだし認識することが大切だと思う。

　少々しつこいようですが、この大記録を達成することができたのも、こうした拘りがあったからこそと思っている。又、忘れてならないことが、私自身を取り巻く人を含めた環境のバックアップなしでは、この記録は成し遂げることができなかったと思っている。

　私は今後、監督と選手という二足のわらじを暫くの間履くことになるが、私自身の目標が達成できた今、チームを優先した取り組みをしたいと思っている。もちろん、選手の育成をも考えながら。そして一人でも多くハンドボールをやってきて良かったと思い、その後自分自身のハンドボール人生を楽しく語れるような育成を、できる限りしていきたいと思っている。

日新製鋼ハンドボール部監督　西山　清

IHFチーフレフェリーシンポジウム報告

国際審判員はサバイバルの時代

審判委員会　大塚文雄&後藤　登

1993年IHFチーフレフェリーシンポジウムは、ヨーロッパ・アルプス、ドロミテ渓谷にあるイタリアの古都ブリックセンでIHF/PRCメンバー、IHF/レクチャラー、世界43ケ国のチーフレフェリー88名が参加して行われた。

IHFからこの通知が日本に届き、イタリアのどの辺で行われるのか地図を見たが、どの地図にもブリックセンという町は載っていない。少々焦って学校で地理の先生に調べていただいたら、なんとボルツァーノ(Bolzano)という町であることが判明し、この山の中の町までどのようにしていったらよいか、あれこれ迷った。

ボルツァーノは、新緑の中、石畳が敷きつめられた小さな町で、自然と人々が豊かに調和した静かで美しい町で、夏のリゾート地、冬のスキー場で、これといった産業のない観光の町と見受けた。

会議の詳細については、後にこの誌面を通して報告したいと思いますが、今回は概略を簡単に報告致します。

▼5月24日

・シンポジウム冒頭基調講演
　IHF/PRC委員長　エリック・エリアス

・レフェリー観察評価表
　IHF/PRC　オイビンド・ボルスタット

・バルセロナ・オリンピック審判員の評価
　IHF/PRC　テオ・キルフォン

・A男子世界選手権大会審判員の評価
　IHF/PRC　ヤーニス・グリンベルガス

▼5月25日

・国際審判員のシステム
　IHF/PRC委員長　エリック・エリアス

・IHF/PRC　テオ・キルフォン

・良いレフェリーの条件
　IHF/レクチャラー　ワルター・コカ

・レフェリーの心理
　IHF/レクチャラー　ワルター・コカ

▼5月26日

・アフリカに於けるエリートレフェリーの教育
　IHF/PRC　フレディナント・ゾリノ

・ハンドボール新興国の統合
　IHF/PRC　クリスタル・アール

▼5月27日

・1993年ニュールール
　IHF/PRC委員長　エリック・エリアス
　IHF/PRC　ウイリー・ハックル

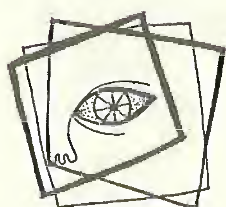
・レフェリーに対する監督側の意見
　IHF/CCM　ディトリッヒ・スペート

特にこの中で特記することは新しい審判員の観察評価表により、バルセロナ・オリンピックとA男子世界選手権大会のレフェリーの評価がきちんとなされ、報告されている点である。日本も審判技術向上のため、各ペアの観察評価の確立をはからなければならない。

また、国際審判員のシステムでは、各大陸(コンチネンタル)のレフェリー制度ができ、コンチネンタルの優秀なレフェリーが、IHF・Aレフェリーとして登録される。そしてIHF・Aレフェリーの中から更に優秀なレフェリーが30ペア選抜され、IHFエリート・レフェリーとなる。しかしながらAレフェリーとして数年、IHFの公式戦を吹かなければ、そのレフェリーは再びコンチネンタル・レフェリーへ格下げとなる。

日本にとっては、この制度は非常に厳しい状況となり、今後国際審判員はサバイバルの時代を迎えそうである。

また、ニュー・ルールについては、シンポジウムの最終日にいとも簡単に報告され終わってしまったのが、意外であった。IHFは、ルールブックも出来ているし、その通り実施しなさい、という感じで、特に何かの質問もコメントも無かった。解釈としては日本で実施しているのとまったく同じであった。ただ、GKのユニフォームは背番号のところに穴が開いているのはOKである、とのことで、日本では検討を要するが、当分は現行のまま実施していただきたい。



IHF
コーチシンポジウム報告

大西　武三（指導委員会委員長）
蒲生　晴明（ナショナル監督）
田口　　隆（ナショナルコーチ）

ＩＨＦのＣＣＭ(Commission of Coaching and Methods)が世界の指導者を集めて2年に一回開催する行事である。ＣＣＭの委員長は長い間ルーマニアのクンスト氏が務めてきたが、昨年6月の総会で改選となり、エジプトのムスタファ氏がヨーロッパ以外から初めて選出され、今回のシンポジウムはその初仕事であった。

日本協会から上記3名が派遣され研修してきました。田口氏は折しもケルン体育大学に日本体育協会から指導者留学しており、何かと心強くまた便宜をはかって頂いた。

研修はもとより各国の指導者と交流できたことは大きな収穫でした。内容の詳細は2ヶ月後にＩＨＦより送付されてきますので、指導委員会で翻訳し、国内でのシンポジウム、機関誌あるいは講習会にて伝達して行きたく思います。


ＣＣＭ委員長ムスタファ氏

期日　5月30日～6月3日

場所　ドイツ・ジュセルドルフ

参加者

ＩＨＦ参加者

ヨーロッパ	21ヶ国	61名
アジア	6ヶ国	14名
アフリカ	3ヶ国	7名
パンアメリカ	1ヶ国	2名
アフリカ連盟	1ヶ国	1名
ドイツ連盟参加者		49名
計	31ヶ国	134名

ハンドボールの方向性

このシンポジウムの意義は世界の指導者にコーチングに必要な各種の情報を提供して指導者の資質を高めることは勿論であるが、如何にすれば、ハンドボールはもっと魅力的なスポーツになるかをＩＨＦのリーダーと参加者である世界の指導者で模索していく所にある。

ＩＨＦの加盟国数は増加しているが、どうすればもっと魅力に満ちたハンドボールになるか、ＩＨＦは非常な関心事を持っている。これは今回のシンポジウムのメインテーマである「２０００年のハンドボール」に直接通じることであり、シンポジウム最後のパネルディスカッションでもとり上げられた話題である。ハンドボールの発展普及はハンドボールそのものが人々にとってどれくらい魅力的で素晴らしいものであるかによっている。

日本が例えば世界のトップクラスに躍りでても、他のスポーツを凌いで普及発展するかといえば疑問である。やはりハンドボールそのものがやってみたいと思わせ、また見てみたいと思わせる魅力を備えていなければならない。ＩＨＦのＣＣＭは、よりハイテンポでハイスピードな、あるいは、より戦術的なハンドボールを目指そうとしていることが、今後に向けてのルール改正の提案などから推察することが出来る。

例えば（括弧の数字は賛成のパーセント）

◎選手交代はディフェンス局面のみ（17）

◎上記に加えて一人のみの交代（23）

◎ペナルティでのＧＫの交代は出来ない（5）


コーチシンポジウムに日本を代表して出席した三氏。右から大西、蒲生、田口の各氏

◎ペナルティは則された選手が行う(5)
◎フリースローラインの外側からのゴールインは2点(35)
◎最後の5分間は実質時間で(72)
◎各ハーフ毎に1回のタイムアウト(75)
◎45秒ルール(42)
◎スローオフはGKによってキーパーラインから行う。(58)
◎追放や失格の後、さらに罰則を加える。(45)
◎コートプレイヤーを5人にする(9)
◎監督はベンチの後ろで自由に動いてよいように改正する(12)

各項目にシンポジウムの参加者にアンケートが取られたが、IHFのCCM委員では、如何にすればハンドボールがより魅力的になるかを考えるのに対し、参加してくる現場のコーチは如何にすれば勝てるかを考えている。その考えのギャップがパーセンテージに現れていて興味深かった。

最後の日に旧ソ連の監督であったイトウチェンコ氏が急に現れ、バルセロナオリンピックでのバスケットのドリームチームによる人気の急騰に比べ、ハンドボールは最近青少年の間に人気が減少していることをグラフで示し、こうすればハンドボールはその人気を取り返せると自己のスピード化に向けたルール改正案を滔々とシンポジウムで話すというハプニング的な場面もあった。

尚、余談になるがイトウチェンコ氏はPRCの委員長のエリアス氏が今回のルール改正を説明した後、質問があるといって席を立ち1982年の世界選手権のビデオを映し、これに対して意見を求めるといったテーマとは検討違いのことを行い、エリアス氏を困らせ、またたしなめられる場面があった。世界のトップにいる指導者の自己アピールの強さを見る思いであった。



シンポジウムパネラー



エリアス氏とイトウチェンコ氏



キュン・キョン・チョン氏（中央）

世界の指導者はプロである

日本のハンドボールでは蒲生氏がプロ第1号の指導者として誕生したが、世界では、もう当たり前の世界であることを実感した。ハンドボールの指導そのものを仕事としてやって行かなければもうやって行けない時代である。

シンポジウムにはCCMのメンバーやオリンピックや世界選手権大会で活躍した指導者が招かれ講演するが、それらの人はナショナルチームやクラブのプロコーチであるか体育大学の教授である。講演や実技指導の内容は新しくて画期的と思われるようなものはないが、さすがに単なる経験論としてではなく、一つの理論として組み立てられている。また練習法もよく工夫され、その人の独自性が感じられる。ハンドボールを職業としている誇りと専門家としての能力が伺える。プロである所以である。

日本ではスポーツの体制が異なる為に、うかつなことは言えないが、今後のハンドボールの競技力向上や普及のためにはプロ的な指導者が輩出する機構が必要である。これだけ高度化した世の中にあって、指導者が仕事とハンドボールの両立では世界のトップレベルにはついて行けないという危惧の念

を抱いた。

目を引いた韓国式トレーニング

講演者の韓国女子ナショナルチーム監督鄭亨均（キュン・キョン・チョン）氏であるが、アジアからIHFのシンポジウムで講演・実技指導した人は今回初めてである。講演ではオリンピックに至る強化計画やディフェンス戦術、実技では韓国式フットワークが披露された。

ヨーロッパの技術指導は主に戦術的なトレーニングが中心である（体力的なトレーニングや基礎技術的なトレーニングに関しては今までもほとんどプログラムに組まれていない）。

１：１の突破のステップに関して１歩１歩の理論と実技、そしてそれに至るまでにフットワークトレーニングが行われたが、デモンストレーターとなったドイツジュニアの選手は要求されるスピードと身のこなしに、とてもついて行けるものではなかった。

「アジアにはアジアのトレーニング法がある」と一部ヨーロッパの指導者の中には批判的な声もあるようであるが、実技講習の中では一番注目を引いたものであった。

それにしても鄭氏が世界の指導者と対等にコミュニケーションを取れる姿を見て、それは世界一になった自信からだけでなく、３年間アラブ首長国連邦でハンドボールの指導をした国際経験が十分に生かされているためと感じた。

折しも同席した蒲生氏は鄭氏と同年令であり、選手として国を代表して戦ってきた間柄である。蒲生氏の今後の活躍によって、世界の指導者の前で講演できる日が来ないものかと思った次第である。

プログラム

メインテーマ
ハンドボール２０００　発展の可能性と展望

▼６月30日

〈午前〉　講義

◎２０００年におけるトレーニング
　講師　ロルフ・ブラック（ドイツのコーチ・シュツットガルト大学）

◎１９９２年オリンピックに向けてのスペインの準備
　講師　ジャビール・カルシア・クエスタ（前スペイン監督）

〈午後〉　実技

◎６：０ディフェンスに対するオフェンス戦術
　講師　ジャビール・カルシア・クエスタ

◎ゴールキーパーのトレーニング
　講師　ミチャル・バルダ（前チェコのGK・チェコのアシスタントコーチ）

▼31日

〈午前〉　講義

◎肩の傷害
　講師　ギス・ランゲボールト（オランダIHF医事委員会委員長）

◎１９９２オリンピックの韓国女子のトレーニング
　講師　ヒュン・キュン・チュン（韓国女子ナショナルチーム監督）

◎スウェーデンでの世界選手権大会（１９９３）におけるスイスの準備
　講師　アルノ・エーレット（スイス監督）

〈午後〉　実技

◎ステップワークのトレーニング
　講師　ヒュン・キュン・チュン

◎ディフェンスの個人戦術
　講師　アルノ・エーレット

◎新しいルールを使用してのデモンストレーションゲーム
　講師　ギュンター・クライン（ケルン体育大学）

▼６月１日

〈午前〉　講義

◎着想とトレーニング
　講師　ベングト・ヨハンセン（スウェーデン監督）

◎サイドプレーヤーの近代的なトレーニング
　講師　アラン・ルンド（デンマークIHF・CCMメンバー）

◎ジュニアのトレーニング
　講師　レナート・シューベルト（ドイツジュニア監督）
　・ラジョス・モクサイ（前ハンガリーコーチ）

〈午後〉　実技

◎スウェーデンの６：０ディフェンスのトレーニング
　講師　ベングト・ヨハンセン

◎ジュニアの攻撃の個人技術のトレーニング
　講師　レナート・シューベルト
　ラジョス・モクサイ

▼２日

〈午前〉　講義

◎変化するコーチのイメージ
　講師　ハインツ・ズッター（スイスIHF・CCMメンバー）

◎ゴールキーパーの７mスロー防御
　講師　ミチャル・バルダ

◎ゴールキーパのプレイの近代的側面
　講師　クラエス・ヘルグレン（前スウェーデンGK）

〈午後〉　実技

◎ゴールキーパーの技術トレーニング
講師　クラエス・ヘルグレン
◎ペース・トレーニング
講師　ユルゲン・ハーン（ドイツ・エッセンコーチ）
夜　グループでのディスカッション

▼3日
講義
◎ルールの改正
国際レフェリーのキャリア
講師　エリック・エリアス（IHF・PRC委員長）
◎どうしたらハンドボールはもっと魅力的になるか？
●女子ハンドボールの技術戦術的傾向
講師　フランチゼック・タブロスキー（チェコ コーチ委員会委員長）
●'93世界選手権の技術戦術的分析
講師　ディートリッヒ・スペート（ドイツ　IHF　CCM委員）
●ハンドボールにおける破壊的な要素
講師　ディートリッヒ・スペート
◎パネルディスカッション
●2000年に向けてのハンドボール－ハンドボールはもっと魅力的にすることが出来るか？－
〔パネラー〕
ジュアン・ロマン・セコ（スペイン　IHF　CCM）
アルノ・エーレット（スイス監督・今年からドイツ監督）
ギュンター・クライン（ケルン体育大学）
エリック・エリアス（スウェーデン　IHF　PRC）
クラウス・シュグアルツ（WDR／ARDスポーツテレビ）
ゲルド・ブチェック（ドイツヘラルド保険会社）

'93ルール改正に関する
疑問点の回答

審判委員会

4月から新しいルールで競技が実施されていますが、いろいろな問題点があると思います。次の疑問点は全国各地から寄せられたものですが、ルール研究委員会から回答致します。

尚、今後競技を実施している中で、いろいろな問題点や疑問点がありましたら㈶日本ハンドボール協会審判委員会宛お送り下さい。

1　競技終了の合図の後にPT・FTを行った場合

(1) 改めて終了の合図が必要か
＊終了の合図（ジェスチュアー）は必要である。但し、笛は吹く必要はない。

(2) 終了の合図が無い場合、ハーフタイムはどの時点からか
＊合図は必要であり、合図があればその時点からである。但し、合図が無い場合には本来合図が必要と思われる時点からが適当である。

(3) 記録用紙への時間の記入は何時か
＊30：00である。

2　競技(前半)終了の合図があった時点でPT・FTのボールの行方が定まっていない場合

(1) すべてやり直しか
＊すべてやり直しではない。

(2) 明らかにゴールの可能性はないが、ボールがコート内かコート外の空間にある場合は、レフェリーの判断か
＊レフェリーの判断である。

(3) GKにボールが触れ、ゴールインが不可能な方向に進んでいる場合は、レフェリーの判断か
＊その通りである。

例　終了のブザーが鳴る
・スローする前（ボールが手から離れる前）…すべてやり直し
・ボールがゴールに向かっている場合…すべてやり直し
・ボールが明らかにゴールに向かっていない場合（味方へのパス、明らかなスローミス）…終了
・バー、ポスト、GKに接触した後ゴールに入る可能性がある…やり直しをさせる。
明らかにゴールに入る可能性がない…終了

3　競技(前半)終了間際のPT・FTはレフェリータイムをとったほうが良いか、それともそれまでの流れに沿ってとらないほうが良いか
＊レフェリータイムはとらないほうが良い。

4　GKが攻撃中または交替中で不在となり、相手側攻撃の時にCPがGKの代役をやった時どうするか
＊エリア内防御として扱う。したがってシュートを阻止すればPT。ラインクロスの反則である。

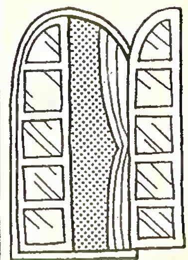
5　GKがCPとして出場するとき、トレパンをはいたまま出場して良いか
＊CPは全員同一のユニフォームでなければならない。但し、GKが攻撃に参加するときはそのままで良い。

6　ノータイム寸前でFTを投げたものが、DFにあたり競技終了のブザーが鳴った場合、もう一度やり直しか
＊ゴールに入る可能性がある場合にはやり直し

7　ペナルティースロー・コンテストについて

(1) GKは毎回交替して良いか
＊交替して良い

(2) GKとして出場した後、次にシューターとして出場して良いか
＊差支えない。



1993年度 女子ナショナルチーム 選手紹介

①ニックネーム②生年月日③年令④ナショナルチーム入り年度⑤国際試合数⑥身長⑦体重⑧利き腕⑨所属⑩出身地⑪出身校

（ポスト）
谷本　泉（たにもと・いずみ）



①イズミ②45年6月5日③22才④H2年⑤21⑥162⑦57⑧右⑨北國銀行⑩石川県⑪小松市女

★期待する点＝新キャプテン。誰に気を遣うこともなく、リーダーシップを発揮し、ガッツプレーを期待している。

●本人の抱負＝スピードの中で正確性を磨いて、走るJAPANの一員としてコートの中でプレーする。ディフェンスの穴を走って、相手を困らせる攻めと、他のプレーヤーの動きを読みとってプレーをしていきたい。

（GK）
村山みどり（むらやま・みどり）



①ムラ②44年1月9日③24才④S62年⑤42⑥177⑦69⑧右⑨シャトレーゼ⑩愛知県⑪東京女子大学

★期待する点＝全日本のGKとして申し分ないが、長いナショナルチームの経験を活かし、ベテランとしてチームを大いに引っ張ってほしい。

●本人の抱負＝世界選手権Bグループで北朝鮮と1点差負けしたくやしさをバネに頑張りたい。新しいメンバーも多く加わったので、去年までとは一味違ったナショナルチームになればよいと思う。

（左45度）
貴田　直子（きだ・なおこ）



①サブ②44年10月18日③23才④H4年⑤16⑥173⑦64⑧右⑨日立栃木⑩青森県⑪青森西高校

★期待する点＝全日本チームのエースアタッカーとして、誰にも負けない強い信念をもってプレーしてほしい。

●本人の抱負＝ロングシューターとしての役割を、確実に果たしていきたい。

（サイド）
小俣　訓子（おまた・くにこ）



①クニ②44年11月15日③23才④H4年⑤14⑥157⑦55⑧右⑨シャトレーゼ⑩静岡県⑪静岡城北高校

★期待する点＝サイドシューターのスペシャリストとして、自信をもったプレーを期待している。

●本人の抱負＝周りのみんなから作ってもらったシュートチャンスを確実に得点できる様に、また自分で仕掛けていけるプレーヤーになる。速効マンとしての走りを忘れずに…。

（左右45度）
西　朋子（にし・ともこ）

①ニシ②45年1月19日③23才④H4年⑤6⑥167⑦62⑧右⑨

■指導スタッフ



監督　緒方　嗣雄（大和銀行）



コーチ　伊藤　宏幸（日立製作所）



コーチ　穂積　豊彦（北國銀行）



ジュニア監督　高野　亮（東京女子体育大学）



ジュニア監督　田中　俊行（ブラザー工業㈱）



ブラザー工業⑩愛知県⑪武庫川女子大学
★期待する点＝パワフルでトリッキーなミドルシュートを期待している。DF面と走力を一段とアップするよう努力してほしい。
●本人の抱負＝自分のもっているプレイをすべて出すこと。あと約1年半程がんばります。

(サイド) 松下由紀子（まつした・ゆきこ）



②45年8月27日③22才④H4年⑤4⑥161⑦55⑧右⑨北國銀行⑩石川県⑪小松商業高校
★期待する点＝自己アピールを十分に出すこと。自分のプレーを信じて、切れのよいプレーを期待する。
●本人の抱負＝ナショナルらしいプレーを考える前に、まずは自分のもっている力を出せるように、少しでもチームに役立てるように頑張りたいと思います。

(右45度) 西口 貴子（にしぐち・たかこ）



①タク②46年6月28日③21才④H4年⑤15⑥173⑦62⑧右⑨大和銀行⑩長崎県⑪夙川学院高校
★期待する点＝ディフェンスの柱として、メンバーから信頼される守りができるように。
●本人の抱負＝ナショナルプレーヤーとしては、まだまだ未熟なため、常に勉強する気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

(左45度) 山尾 陽子（やまお・ようこ）



①マオ②47年3月29日③21才④H5年⑤2⑥171⑦62⑧右⑨大和銀行⑩滋賀県⑪彦根商業高校
★期待する点＝パワーアップを心掛け、ロングシュートは自信を持ち、確率を上げること。強い精神力を持つこと。
●本人の抱負＝全日本選手としての経験はまだ浅いですが、合宿に参加するたびに勉強になることがたくさんあります。なぜ自分が全日本の選手に選ばれるのかという気持ちがあり、消極的になる部分がありましたが、選ばれたからにはがむしゃらにし、手本になる人達がたくさんいるので、見て自分の悪いところは少しでも減らして、長所はどんどん伸ばしていけるようにしたいです。

(サイド) 田中 里美（たなか・さとみ）



①ビッケ②48年2月27日③20才④H5年⑤2⑥166⑦59⑧右⑨オムロン熊本⑩熊本県⑪熊本女子商業高校
★期待する点＝2つのポジションをこなせるようになること。ねばり強い性格を全面に出して力を発揮してほしい。
●本人の抱負＝ナショナルメンバーに選ばれたからには、日本の代表選手という自覚をもって参加したいと思います。オムロンでやっているポジションとは違いますが、自分が求められているプレーを出せるよう、日頃のトレーニングから真剣に取り組み、自分の持味を早く出し、頑張っていきたいと思います。やるからには、上位を目指したいです。

(センター) 上出恵美子（かみで・えみこ）



①エリー②48年5月17日③20才④H5年⑤2⑥168⑦58⑧右⑨北國銀行⑩石川県⑪小松商業高校
★期待する点＝オールラウンドプレーヤーとして、すべての点に努力してほしい。持ち前の明るさでチームを活性化させてほしい。
●本人の抱負＝いろいろな人のプレイを見て、さらに磨きをかけて頑張ります。

（ポスト）

荒川　裕子（あらかわ・ひろこ）



①ひろ②48年4月25日③20才④H5年⑤2⑥172⑦70⑧右⑨大和銀行⑩岡山県⑪宣真高校

★期待する点＝ムードメーカーとしてチームの活性化に務めてほしい。ポストマンとして自分のプレーも大切であるが、他のプレーヤーを助けるプレーを勉強してほしい。

●本人の抱負＝少しでもチャンスがあれば1点でも多く点を決めて、活躍できるようになりたい。チームのムードメーカーとなれるよう、声を出してがんばろうと思う。

（45度）

松本　恵美（まつもと・えみ）



①バン②48年7月6日③19才④H5年⑤2⑥171⑦72⑧右⑨日立栃木⑩栃木県⑪国学院栃木高校

★期待する点＝パワー、スピードをアップしてロングシュートを持ち込んでほしい。一日も早く先輩を追い越す意気込みを持つこと。

●本人の抱負＝もっと自分のプレーに自信をつけ、そしていろんな面でたくさんのことを吸収していきたい。日本だけじゃなくて世界に通用するプレーを自分に身につけて頑張っていきたい。

（45度）

広瀬喜代香（ひろせ・きよか）



①キヨカ②48年10月19日③19才④H5年⑤0⑥164⑦65⑧右⑨大崎電気⑩宮崎県⑪本庄高校

★期待する点＝ガッツを全面に出し、すべてのプレーに意欲を持って取り組んでほしい。

●本人の抱負＝ナショナルの合宿に参加すると、自分のチームと違ったプレーもあるし、自分と同じポジションの人のプレーを見ながら、見本となる人たちがたくさんいます。自分にないものがすぐにわかります。合宿に参加することで、今までとは違う自分になりたいと思います。

（サイド）

伊佐野実保（いさの・みほ）



①ジャン②49年1月6日③19才④H5年⑤0⑥163⑦62⑧右⑨日立栃木⑩栃木県⑪栃木商業高校

★期待する点＝サイドプレーヤーとして人一倍努力して自分のポジションを奪い取ること。

●本人の抱負＝サイドというポジションにこだわらず、スルーやカットインを使ってディフェンスをかき回していきたいです。シュートはもっと中に入ってジャンプをし、余裕をもって打っていけるようにして、確率を高めていきたいと思います。いろいろな人のプレーを見て研究し、どんどん自分のものに出来るよう頑張っていきたいです。

（右45度）

山川　由加（やまかわ・ゆか）



①ユタ②49年5月29日③18才④H5年⑤2⑥167⑦60⑧左⑨ブラザー工業⑩愛知県⑪名古屋短期大学付属高校

★期待する点＝左という自分の特徴を活かすこと。パワーアップを第一に心掛け、ロングシュートに期待している。

●本人の抱負＝世界に通用するプレーをしたい。もっとフットワークなどパワーをつけたい。ケガをしないようにする。もっとキャリアをつんで、安定するプレーをしたい。とにかくいっぱいうまくなりたい。とにかくいっぱい頑張る。

（左サイド）

田中美音子（たなか・みねこ）



①みねこ②50年1月14日③18才④H5年⑤0⑥159⑦56⑧右

⑨大和銀行⑩大阪府⑪四天王寺高校

★期待する点＝サイドプレーヤーとして走力をつけ、シュートテクニックの工夫、スペシャリストを期待する。

●本人の抱負＝尊敬する人たちのプレーを一つでも多く身につけて、どんどんうまくなりたい。そして世界で通用するようなプレーヤーになれるよう自分の最大限に挑戦していきたいと思っています。

古澤さとこ（ふるさわ・さとこ）
（GK）



①さこ②47年3月6日③21才④H5年⑤2⑥170⑦68⑧右⑨北國銀行⑩佐賀県⑪神崎農業高校

★期待する点＝積極的にプレーすることを心掛け、自分流の型を早く作り上げること。

●本人の抱負＝自分はナショナルに入ってまだ日が浅いのですが、走ることにかけては、人以上に遅いので、みなさんに迷惑をかけないように頑張りたいです。あと、ゴールキーパーとしては、上のムラさん、ジンさんを見習って、少しでも近づき、安心してまかされるようになりたいです。

川島ゆう子（かわしま・ゆうこ）
（GK）



①ジン②43年10月21日③24才④H3年⑤18⑥174⑦67⑧右⑨オムロン⑩鹿児島県⑪牧園高校

★期待される点＝躊躇することなく積極的に取り組んでほしい。常にトップを目指すこと。

●本人の抱負＝全日本という一つのチームの中で、各個人個人でいろいろな役割あると思いますが、自分自信の役割、位置付けを把握し、チームのために、日本のために頑張りたい。

比嘉　晴美（ひが・はるみ）
（サイド・センター）

②44年9月12日③23才④S61年⑤47⑥162⑦52⑧左⑨オムロン⑩沖縄県⑪具志川高校

★期待する点＝プレーで活躍はもちろんのこと、全日本チーム最長経験を生かし、リーダーシップを発揮してほしい。



●本人の抱負＝全日本歴7年と一番長いので、この経験を生かし、少しでもチームを引っ張り、力になれるよう頑張りたい。

西村　聖子（にしむら・せいこ）
（フローター）



①せいこ②45年10月14日③22才④H元年⑤15⑥174⑦67⑧右⑨オムロン⑩大阪府⑪武庫川女子大学

★期待する点＝まずDFの中心としてリーダーシップを発揮すること。DFではシュート確率をよくすることに努力してほしい。

●本人の抱負＝国際試合の経験だけは、数多くさせてもらっているので、これからは攻守共にチームの中心選手となれるよう頑張りたい。

日比野雅子（ひびの・まさこ）
（フローター）



①マサ②44年12月3日③23才④H5年⑤2⑥166⑦62⑧左⑨ブラザー工業⑩愛知県⑪東京女子体育大学

★期待する点＝ケガに泣かされ続けたが、やっと克服して復帰。溜った力を爆発させてほしい。特にパワフルな左腕シュートに期待。

●本人の抱負＝今までケガで出来なかった分、周りの人たちを沸かせるようなプレーができるようにバリバリ頑張りたいと思います。

大林　まり（おおばやし・まり）
（FP）



②46年11月2日③22才⑥159⑦50⑪武庫川女子大

強い全日本を目指して

全日本女子監督　緒方　嗣雄

昨年の11月に行なわれた世界B選手権は10位という成績で終った。順位決定戦では、北朝鮮と対戦し、終始リードをしておきながら、最後に逆転され後味の悪い敗戦であった。この一戦に限らず、敗戦の分析は、集中力が欠けた時のボールコントロールミス、大切にプレーをしようとしての消極的なプレーで発するミス、精神的に弱くなった時のミスが多い。これらのミスはスピードに乗ったミスで無い為に、即相手チームに得点を許す事になる。思い切りよく生き生きとプレーする事と、スピードに乗ってプレーできる選手を第一と考え、全日本メンバーを一新する事とした。

フレッシュさを前面に出し、肉体的、精神的に追い込まれた状態でも、逃げる事なく挑戦する選手を第一に考え、メンバーを選出した。新人9名（ジュニア資格者7名）を含む19名の選手選考をして、3月15日より3日間のトレーニング後、遠征合宿に出発した。

チェコ、スロバキア、ドイツ、オランダと22日間で13試合（5勝8敗）。スロバキアでは、大会参加1日3試合のハードスケジュールの試合。チェコでは合宿トレーニングで試合中の問題点の修正を行ったり、チェコナショナルコーチの指導を受け12日間のハードトレーニングであった。再び親善試合の為にドイツ、オランダを廻り遠征を終えた。遠征前は、初めて参加するジュニア選手が多い為に不安材料ばかりであったが、チェコでの合宿トレーニングの中で、ベテランとジュニアのチームワークも良くなり、一人一人力を発揮することによりライバル意識が働き、次第に戦う軍団となる。すべての面でチームワークが向上し、ねらい通りのチーム形成ができた。

今年度の新たなスタートに、自衛隊での合宿を行った。目的は、ハングリー精神の養成、窮地に立たされた場面でも平常心で実力が発揮できる事、格闘精神の強化の3つである。

規律正しい生活の中で、覇気ある行動、障害走、銃剣道と取り組み、肉体的・精神的に追い込んだ中でハンドボールを持ったトレーニングをする。狙いは、ミスを少なく、又集中力を持続させるかであった。スタッフ、選手共に疲労状態であったが、最後までトレーニングを続け、目的に近づけたと思う。即結果は出ないが、試合の大事な場面でこの経験を活かす事ができる事を信じている。

今年度のアジア選手権と来年の広島アジア大会をどの様に戦うか、メンバーは今年度全日本選手の中から選ぶ。今年の目標は北朝鮮を破り3位以内、来年のアジア大会は2位以内を狙う。その為には、自衛隊の精神的な合宿を土台として、個人技術の向上、特に1対1に強くなる事　スピードアップ、コンビネーション、サインプレーの確立である。以上のプレー徹底により、一試合25得点の攻撃力、23失点以内の防御力を付ける事である。

スピードのあるサイドマン小俣、比嘉、松下、両田中、伊佐野の走力は問題ないが、ノーマークシュートを身体を張って打ち込む事が課題である。ロング陣の貴田、西、山川、松本、山尾のシュート確率を良くする事が第一であり、又強気でシュートを打ち込む事も期待したい所である。ポストの谷本、荒川はそれぞれ持ち味を充分発揮する事と、ロング陣を活かすプレーを身に付ける事が課題である。

センタープレーヤー比嘉、上出の他のプレヤーを活かすプレーばかりでなく、自分で強引にシュートまで持って行く事、相手によって対応能力を身に付け発揮する事、防御力は西村、西口を中心として0：6、1：5、1：2：3変則防御が相手により使い分けられる強みが出て来た。GK村山、川島の安定感のあるキーピング、古沢のトリッキーなキーピングは、DFとコンビネーションが合えば完璧である。

選手の力を充分に発揮できる万全の調整と闘志が沸き立つ戦術、戦略、いかに実行するかが問題点である。一歩一歩前進して挑戦したいと思っています。

夫婦で作ったふたつのチーム

夢に向かって

志々場修二（北陸高校）
博子（森田中学）



「ただいま」

午後6時半、私は両手いっぱいにスーパーの袋をかかえ帰宅する。

「おかえり」

義姉が下宿生の食事の用意をしながら迎えてくれる。

「今日のおかず何ですか」

「トンカツよ」

「じゃ、みそ汁作りますね」

私はさっそく大きな鍋と奮闘開始だ。そうしている間に、主人、下宿生、娘が次々と帰ってくる。下宿生はすぐに掃除にとりかかる。主人の大きな声が響くので、私も気が抜けない。7時半、下宿も我が家も夕食だ。8時、下宿生は銭湯へ。私もようやく一息「ああー、疲れた」

結婚して17年、主人は高校教員、私は中学教員、共にハンドボール部の顧問をしながら教員生活は20年を越えた。いつの間にか主人のペースに乗せられ、あれよあれよという間に今では下宿生20人との同居生活。こんなはずじゃなかったのに……。

主人の夢は、高校日本一！今年こそという気持ちが高じて、家も改築し、いつの間にか、今では県外からの生徒を含め下宿生20人という結果になりました。

夢が実現するかどうかわかりませんが、「今年こそは！」の言葉に乗せられ、今日もまた夢に向かって歩いています。

こんな中、教え子たちが、大学、各実業団や地元企業でハンドボールを続け活躍をしてくれることが何よりの喜びです。

私たちの歩き方はこれで良いのか、7年歩み続けていてもいまだ結果は出ていませんが、ハンドボールにかける熱いは人一倍だと自負しています。これからも互いに情熱を持ち続け、歩いて行こうと思っています。今後共よろしくお願いいたします。

ドイツ研修レポート

シーズン前のトレーニング

田口　隆

今、ここドイツはシーズンオフに入り、今まで何かと忙しかった私も、何となく落ち着く日々を送っています。そこで、今月はシーズンについて報告したいと思います。

まず、日程的なものとしては、9月から6月初旬がシーズン（ブンデスリーグｅｔｃ）となり、それが過ぎると7月終わりまでがシーズンオフとなります。ＴＳＵ Ｂａｙｅｒ Ｄｏｒｍａｇｅｎでは6週間の完全なオフとなります。そのシーズンオフが終わると、9月まではシーズン前のトレーニング期に入ります。

このシーズンについて、私がＤｏｒｍａｇｅｎの監督と話をした内容の中から、シーズン前のトレーニング期における考え方を次に述べます。

彼が言うには、まず準備の段階で7月終旬から8月にかけてのトレーニングが最も重要で、この時期によいトレーニングが出来たかどうかでそのシーズンの善し悪しが決まると言う。また、その時期に自分の考え等をチームに浸透させ、シーズン中にはその考えを変えることはないと言う（相手チームに対して戦術的に変えるということはあっても）。準備期間にしっかり力をつけるドイツの選手は、どんどんよい選手が育っていくとも言っていました。

また、私が日本のナショナルチームのコーチということで、ナショナルチームにとっても、各チームで十分なトレーニングを積んだ選手がナショナルチームに選ばれることは、ナショナルチームの強化にも役立っているとも言い、この準備期間はなくてはならないものだと言い切っていました。

このような話を聞き、日本の今の現状に当てはめた時、この準備期間が少なすぎるのではないかと思いました。日本国内ではみんなが同じ条件で、不公平があるわけがないので問題ないと思われる方もいるでしょうが、先に私のチームの監督が述べたように、全日本チームのことを考えれば、このような準備期間中に試合の中では学べないものを学ぶ。またトレーニングする時期にあてれば、全日本の合宿・遠征以外にも多くの鍛錬の場が設けられるのではないでしょうか。

多くのチームが故障者で頭を悩ませる中、準備期間、休みの期間をもう一度見直すことで、よい方向へ向かうのではないかと今回は思いました。

ナショナル(B)チーム便り

松井　幸嗣

平成5年3月15日から22日までの8日間、本年度のナショナル選手の選考合宿が行なわれました。その結果、Aチーム22名、Bチーム15名が選ばれて現在、活動をしています。私はBチームのヘッドコーチとして任命されました。今回は、ナショナルBというチームがどのようなメンバーで構成されているのか、活動内容や目標などについて触れたいと思います。

■メンバー構成

現在、ナショナルBのメンバーは15名ですが、このメンバーを基本として大会に応じた選手を送り出しています。たとえば世界選手権は大学生を中心としたメンバー、世界ジュニア選手権アジア予選には、年齢に適したメンバーで参加しています。Aチームに比べて年齢も若い選手が多く、また大学生の数も多く含まれており、将来が期待できる選手が数多くいます。

■ナショナルBの活動

平成5年度は6回の合宿が予定されています。

一、4/8~14　B強化合宿
二、5/26~29　世界学生選手権選手選考合宿
三、7/21~26　B強化合宿（実業団中心）
四、8/31~9/4　B強化合宿（ジュニア中心）
五、12/20~26　B強化合宿
六、3/19~27　B強化合宿（大学生中心・韓国遠征合宿）

各合宿ごとに実業団に所属している選手、大学生の選手、あるいは来年に予定されている世界ジュニア選手権アジア予選に出場資格を持つ選手などの強化を行っています。

練習は〃しっかりした器(身体)を作らなければ、たくさんの御飯(技術)を盛ることは出来ない〃という考えから、特に下半身（フットワーク）の強化と、日本の最高の武器である速攻に重点を置き、選手個々の良い所を伸ばす指導を目指しています。

■ナショナルBの目標

まず第1に、一日でも早くAチームに昇格することです。その為にはBチームにいる間に精神面、技術面、そして身体作りを確実に行ない、力をつけることです。このことは、スタッフの目標でもあります。

第2に、Bチーム単独での海外遠征、大会参加、国内での外国チームとの親善試合などに出場することです。

＊　＊　＊

以上、ナショナルBチームの基本的な部分を簡単ではありますが触れてみました。いずれにしても、蒲生ナショナルA監督が言っているように、私たちは一人でも多くの皆様に見てもらえるようなゲームができるように、選手達とスクラムを組んで、日常の訓練を計画的に実行して一つ一つ成果を上げていきたいと考えています。本年度はナショナルチームのスローガンであります

①Creative Thinking(創造し、考える)
②Real Action(実際に、行動する)
③Be Successful(成果、結果を出す)

をもとにトレーニングを実行していきたいと思います。

皆様方のご支援よろしくお願いいたします。

平成5年度女子ジュニア第1回強化合宿報告

高野　亮

5月25日~5月30日(5泊6日)の間、名古屋市のブラザー工業において、第1回強化合宿を実施した。昨年8月、北京市で行われたアジア予選では、4位という不本意な成績ではあったが、何とか「世界女子ジュニア選手権」出場への切符を手にし、本番までにはやらなくてはいけない問題を山積みにして帰国した。

反省点として

一、個々の基本技術の向上
(一)オフェンス面=フェイント力、パステクニック、シュート力等
(二)ディフェンス面=スピードあるフットワーク、ボディアタック等
(三)一試合を行なえる体力、および精神的スタミナの養成
(四)個々が「ゲームコントロール」をできるようにする。

二、コンビネーションプレーの向上
(一)オフェンス=相手のディフェンスに対応できる幅広い攻撃力（戦術）
一次速攻・二次速攻での正確性
(二)ディフェンス=相手のオフェンスに対応できえる何通りかのディフェンスシフト

等の点があげられる。

短期間の合宿ですべてを消化していくのは至難のわざではあるが、今回の合宿では「ディフェンス」に重点をおき、特に「相手の高さ・重さ」という点を頭におかせながら合宿を進めた。

システムとして
一、6－0ディフェンスからのプレスディフェンス
二、3－2－1・2トップのシステムを試みた。

プレスディフェンスを行うものとしての基礎技術の中で、マークにボールがない時のオーバーシフト、ボールがある時と、カットインプレーに対するオーバーシフトに重点をおき、

コンビネーションでは
・45°・センターオフェンスに対するフォロー
・トップ・センターディフェンスのサイドフォロー
・カットインプレーに対する受け渡しとマーク

について理解を求め、かなりの成果が得られたと思う。

しかし、今後の課題として、オ

ーバーシフト及びブロックをするためのフットワーク、またそれを支えるものとしての体力面が不十分である。コンビネーションとしては、視野外からのカットインも含め、コンビをとるディフェンスとのラインを破らせないという意識が低い。インサイドの空間にオフェンスを入れさせない練習をより強化していかなければならない。

以上のような練習内容を主に、午前中はジュニアだけでトレーニングをし、午後はブラザー工業との練習マッチで試してみるという方法をとり、またゲームの中では、精神的な面をチェックしたり、「ゲームコントロール」という点についても要求していった。

若い選手達であるがゆえに、「のっている時」、「のらない時」という差があり、この点についても強く要求し、それなりの成果が得られたと思う。また、中日の午後には、メンタルマネージメントについての講義も受けた。全体的には、前回のアジア予選の時とくらべて、個々のレベルもかなりアップしており、各チームでのトレーニングのおかげと深く感謝いたしております。

次回の合宿は、韓国遠征をし、ゲーム中心の合宿になりますが、個々の技術向上をめざし、本番に備える覚悟でおりますので、今後共ご協力の程お願い申し上げます。

国際情報

◎世界男子ジュニア選手権大会は8月8日〜18日にエジプト　カイロで開催

組合せ

Aグループ　スペイン、デンマーク、韓国、ポーランド

Bグループ　ロシア、ノルウェー、ハンガリー、アルゼリア

Cグループ　スウェーデン、ポルトガル、オーストリア、アルゼンチン

Dグループ　アイスランド、ルーマニア、ギリシャ、エジプト

◎世界女子ジュニア選手権大会9月3日〜13日　ブルガリアで開催

組合せ

Aグループ　ロシア、ルーマニア、中国、日本

Bグループ　韓国、ドイツ、北朝鮮、ウクライナ

Cグループ　スウェーデン、ベラシール、ブルガリア、アルゼリア

Dグループ　デンマーク、ポーランド、オランダ又はオーストリア、ブラジル

◎AHF常任委員会が4月11日にクウェートで開催され次のことが決定した。

●アジアオリンピック評議会によるイラク追放の継続を承認した。

●広島の組織委員会より送付された1994年広島で開催される第12回アジア大会のハンドボールテクニカルハンドブックを承認した。

●1994年9月30日に理事会を開催。

●1994年10月1日総会を開催。

●アジア選手権大会がオリンピックアジア予選を兼ねることが承認された。但し、同大会がオリンピックの前年に開催される時にのみ適用。

●ウズベクスタン、ツルクメニスタンの加盟が認められた。

●1993年9月24日に常任委員会、1993年9月25日に総会を開催することが決定。

◎MCの西山氏は2月の会議においてエイズ予防のため検査実施について提案

◎1995年にアイスランドで開催される世界選手権大会にアジアからレフェリーを推薦するようIHFに依頼する。

◎アトランタオリンピックの出場資格は96世界選手権の順位によることとなり、男女各7位まで、開催国と各大陸1に出場権が与えられる。

◎スロバキアは1997年の学生選手権大会の開催を申し込んだ。

◎1997年の世界選手権大会にオーストラリアの参加が認められる。ただし、オセアニア予選大会参加5ケ国以上が条件。

◎全ての世界選手権大会の組合せ抽選は大会の9ケ月前に実施することが決定

◎1994アジア大会(広島)にはヨーロッパから3ペアのレフェリーが参加する予定。

◎93年11月24日〜12月5日ノルウェーで開催される女子世界選手権大会の組合せ

Aグループ　ノルウェー、ポーランド、ハンガリー、スペイン

Bグループ　ロシア、デンマーク、韓国、リトアニア

Cグループ　ドイツ、ルーマニア、スウェーデン、アンゴラ

Dグループ　オーストリア、中国、チェコスロバキア、アメリカ

◎IHFでは1993年2月の会議で次のことが検討された。

●男子世界選手権大会は24ケ国で行う。但し、24チーム参加では主催国が無い場合は20ケ国で行うこともある。開催は6月又は7月、1997年からオセアニアにも1チームの出場権を与える。

●予選は世界選手権大会の6ケ月前までに開催しなければならない事等。女子世界選手権大会は1995年から24ケ国で行い、開催は12月とし、オセアニアにも1ケ国の参加を認める。

●世界男女ジュニア世界選手権大会は2年毎の9月に各20ケ国参加で開催、予選は6ケ月前までに終えなければならない。

県協会だより

沖縄県ハンドボール協会



沖縄のことわざに「ハーレー鐘が鳴ったらツユも明ける」というのがあり、各地でハーレーの大会が開催され、今まさに暑さの盛りで、暑さを通りすぎ痛さを感じる季節になって、スポーツ界では屋内外を問わず暑さとの戦いです。

本県ハンドボール協会は昭和40年に故仲田豊順先生が創設され、基礎的条件を整備し、現嘉陽宗陰会長がそれをもとに充実、発展されてこられました。

本県は本土から遠く離れ、競技力の向上を図るには決して良い条件ではない中で、全国に誇れる競技人口と競技実績をあげてきました。その背景には、昭和62年に開催した海邦国体が大きな契機となっています。市町村との連携による水中学生へのハンドボールの普及と指導者の養成と確保、施設整備、中央派遣コーチによる強化策の継承、父母、地域の理解と支援等の要因があげられます。

国体を開催した時の情熱ある体制は嘉陽会長を中心に確実に引継がれ、大会の運営、選手の強化等に生かされている。総務委員会で年間行事計画作成と役員の割当、競技委員会での大会の運営、審判委員会では審判員の配置と研修、強化普及委員会では競技力分析と選手の強化策等、各委員会の有機的な連携による生きて動く指導体制を確立している。



本協会の登録チーム数は140チームあります。

小学生は16チームで年間3回の県大会、九州、全国大会にそれぞれ1回派遣している。平成4年度には九州、全国大会を制覇し、毎年上位の成績をあげており、全国で勝つよりは沖縄予選で勝つことが大変である。

又、中学生は42チームが登録し、年5回の大会で九州大会に3回、全国大会に2回派遣している。九州、全国大会では毎年上位に位置し、平成4年度JOCジュニアオリンピック大会では九州で優勝し、全国大会で3位を収めました。高校・一般では82チームが登録され、高校が5回の県大会、九州が2回、全国が2回の大会に参加している。平成4年全国選抜大会で男子3位、平成5年度九州総体で男子が選抜大会優勝のチームを破り優勝している。

一般は年3回の県大会を開催しており、九州選手権で7回優勝、全国クラブ大会で2回優勝している。特に一般チームは大学等で活躍した選手が戻って来ており、定期的に練習し、各選手が本県のハンドボールのレベルの向上に自らの果す役割について十分に認識している。

以上のように小学校から中高校・一般と多くの実績を残していますが、悩みのタネは派遣費が多県と比べて多額にかかることから、県外試合が出来ないことであります。

幸いなことに日本協会はじめ全国のハンドボール関係者が理解を示し、ご助言とご支援をしてくれることであり、その中でも九州各県の関係者が九州は一つということで積極的にご支援下さることであります。

これから本協会も九州を追い越し、全国を制覇することを目ざし、なお一層努力していく所存でありますので今後ともご指導のほどお願いします。

山梨県ハンドボール協会



山梨県ハンドボール協会の創立は、昭和22年ですから47年が経過していることになります。愛知県でハンドボールを知った小林勝意氏が、22年4月山梨県に転勤するやこれを紹介し、山梨女子師範学校が導入してハンドボール部を作り、活動を開始したのが今日までに発展した基であります。志のある人達の努力で、この年の12月には早くも山梨県ハンドボール協会が創立され、山梨県体育協会には2年後の24年に加盟し、一人前の競技団体として今日に至っております。

クラブとして活躍が期待された山梨女子師範は、翌年の第3回国民体育大会でいきなり優勝を遂げ、その後全日本総合の優勝を始め、全国大会では常に上位入賞を果たす活躍で、後続に良い刺激を与えてくれました。

ここで活動した選手が教員として高校・中学に種を蒔き、また伸ばし日川高校・塩山高校・山梨高校等が全国大会或はブロック大会で活躍し、特に日川高校女子は昭和57年鹿児島での全国高校で我々が念願の優勝を遂げ、山梨県の存在を示してくれました。

又高校・大学を卒業した者による一般の部の結成も盛んになり、特に61年かいじ国体を迎えるにあたって誕生した実業団シャトレーゼの存在は、県内外に大きな好影響を与えております。

こうした中で本県の現在のチーム数は、スポ少2、中学男15女7、高校男20女13、一般男10女1、大学男4女2、実業団女1とあまり多くありません。それというのも、県内の高等学校が公私立45校と少なく、加えてハンドボールを学習した教員の採用もままならず、チーム数を増やすどころか現状を維

持するのが精一杯というのが偽らざるところだからです。

しかしながら反面好都合の点もあります。それは、県内の大会はすべて体育館で運営出来ることであります。61年かいじ国体の開催で、38×20を2面とれる体育館が、会場地となった塩山市に1、甲府市に2体育館建設されたことにより、それまでの荒天時による日程変更の煩わしさから解放されています。が、やはり最もチーム数の多い高校の大会でさえ、1体育館3日の日程で消化出来てしまうというのにはやはり淋しさを感じています。

先日、本県の高体連で実施した最近の高校生のクラブ活動への志向調査の結果が新聞紙上で報告されましたが、サッカー・ラグビー・バスケット等は人気が高まっているが、ハンドボールは残念ながら人気減少状態とありました。協会スタッフ、また現場指導者の創意工夫が要求されているところです。

更には、平成8年度には全国高校総体をお引き受けすることになっており、底辺の拡充を図ることはもちろんですが、選手強化計画が目下の急務となっています。

この大会の運営については、本県は過去昭和38年富士吉田市、50年塩山市と2回開催し、運営には自信を持っているとは言うものの、過去の大会はいずれも少数種目開催のため、競技役員等専門家以外から多数応援が得られる状態でした。

しかし今回は全種目同時開催のため、どこまで人材が確保できるか、クリアしなければならない問題が多々あります。

61年かいじ国体を機に県協会の役員を大幅に組替え、若手起用を試みていますが、本県では公務員に対する特殊な勤務条件があるため、なかなかスタッフが固定し得ない若しみを味わっています。そのところが強化面では、シニアはまだ力を維持しているものの、少年少女は高いレベルの関東地区でなかなか勝てない状況にあります。審判では一時は3名の国際審判員を輩出し、かいじ国体では7ペアを提供してレベルの高さを示しましたが、現在は停滞気味となっているのは否定出来ません。

しかし、植野会長、奥山理事長を軸に、歩みは遅くとも焦らずに立直しを図る努力をしておりますので、日本協会をはじめ関係各位のご支援ご指導をよろしくお願い致しまして、「県協会だより」の一端とさせていただきます。



奈良県ハンドボール協会

この度、機関誌に掲載させて頂く機会を得ましたので、県協会の発展過程を振り返らせて頂きます。

県協会は、現会長・森田正英氏をはじめとして多くの諸先輩先生方が中心に、昭和24年3月にハンドボール競技を愛した先生たちで発足（設立）され、ハンドボール発展・普及に寄与され、平成5年に於いては協会発足45年が経過しようとしております。

その間には、本県高等学校出身者としてモスクワ・オリンピック代表に津川昭・大原真造（生駒高校）、ロサンゼルス・オリンピック代表に生駒靖夫（生駒高校）の3名が選手として選ばれ、活躍されました。

中学におきましては、昭和52年度に、土井喜光氏が指導されていた生駒中学校（男子）が悲願の全国優勝を成し遂げました。平成元年には大瀬中学校（女子）が全国優勝を果たしました。高校に置きましてはトップレベルの中学生が県外へ流出し、県内高校に入学しない為に全国大会におきましても、男子の添上・生駒・正強高校のベスト8が最高で在ります。

一般におきましては、昭和59年わかくさ国体開催を機にして教員チーム（わかくさクラブ）に若い選手（教員）が採用され活躍し、国体前の教員大会に於いて玉村健次選手（現・湧永製薬）を中心に悲願の優勝を成し遂げ一層励みと成り、国体において、成年男子（わかくさクラブ）・成年女子・高校男女の活躍で総合優勝を達成。その後、中学・高校に於国体で活躍した優秀な選手（教員）が指導者として各学校で指導されており、県内中・高校の競技力は向上されており、より一層の精進を期待しております。

ここ数年、高校を卒業し社会人に成りチームを形成し一般チーム登録が増えた事を契機に、本年より一般リーグ戦を強化の一環として開催する運びとなりました。更にこれを機により一層飛躍することを願う。

本年度は、第22回全国中学ハンドボール選抜大会が本県生駒市を中心に開催される運びに成っておりますので、協力賜りますようお願いします。

最後に、県ハンドボール協会は、日本ハンドボール協会の発展を願い、普及・強化に向けて一層努力を重ねていく所在でおりますので、今後共より一層ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

（理事長　中川敏文）

各地の大会結果

北海道

北海道学生春季リーグ

（5月21日～23日／室蘭市立体育館）

◎**男子一部**

函館大学	31－15	札幌大学
北海道大学	22－13	北海学園大
道都大学	20－14	道教大函館
函館大学	33－8	北海学園大
札幌大学	25－18	道都大学
北海道大学	20－12	道教大函館
函館大学	32－10	道都大学
北海学園大	22－12	道教大函館
北海道大学	19－11	札幌大学
函館大学	46－8	道教大函館
北海道大学	21－17	道都大学
札幌大学	26－18	北海学園大
札幌大学	21－20	道教大函館
道都大学	20－13	北海学園大
函館大学	27－8	北海道大学

※最優秀選手に山田諭（函大）が選ばれ、得点王は37点を上げた反田浩（函大）が獲得。

◎**男子二部（順位）**

①小樽商科大学②札幌学院大学③北海道教育大学釧路分校④北見工業大学⑤室蘭工業大学⑥釧路公立大学

◎**男子三部（順位）**

①北海道工業大学②北星学園大学③北海道教育大学旭川分校④帯広畜産大学⑤北海道大学医学部⑥北海道学園北見大学

◎**女子の部（順位）**

①北海道女子短期大学②北海道教育大学旭川分校③北星学園大学

※北海道女子短期大は5季連続6回目の優勝。

北信越

北信越学生春季リーグ戦

（5月28日～30日／金沢市中央体育館）

◎**男子一部**

金沢工大	26－26	新潟大学
金沢工大	37－18	金沢大学
金沢工大	29－12	富山大学
金沢工大	34－16	信州大学
新潟大学	21－21	金沢大学
新潟大学	26－17	富山大学
新潟大学	28－18	信州大学
金沢大学	26－18	信州大学
富山大学	20－18	金沢大学
信州大学	24－22	富山大学

※金沢工大が5年連続15回目の優勝。得失点差により5位は信州大学となり二部へ降格。

◎**男子二部**

長野大学	19－11	富山医薬大
長野大学	20－13	福井大学
長野大学	23－12	富山国際大
長野大学	29－13	北陸大学
富山医薬大	12－11	福井大学
富山医薬大	17－9	富山国際大
富山医薬大	15－5	北陸大学
福井大学	21－9	富山国立大
福井大学	18－11	北陸大学
富山国立大	16－7	北陸大学

※長野大学が8年ぶり5回目の優勝で一部昇格を決める。

◎**女子**

仁愛女短	25－17	金沢大学
仁愛女短	22－10	信州大学
仁愛女短	29－6	新潟大学
仁愛女短	26－8	富山大学
仁愛女短	43－2	長野大学
金沢大学	15－14	信州大学
金沢大学	16－12	新潟大学
金沢大学	19－12	富山大学
金沢大学	23－4	長野大学
信州大学	18－14	新潟大学
信州大学	13－13	富山大学
信州大学	20－9	長野大学
新潟大学	11－4	富山大学
新潟大学	27－6	長野大学
富山大学	21－11	長野大学

※仁愛女子短大は2年連続2回目の優勝。

東海

東海クラブ選手権

（6月13日／ジャスコ体育館他）

◎**男子**

〈Aブロック〉

▼1回戦

大同クラブ 19－15 清商クラブ

鵜ノ森クラブ 22－19 岐阜西クラブ

▼3位決定戦

清商クラブ 25－19 岐阜西クラブ

▼決勝

大同クラブ 25（7－18、11－5）16 鵜ノ森クラブ

〈Bブロック〉

▼1回戦

中京大クラブ 25－19 大垣クラブ

本田クラブ 20－19 静農クラブ

▼3位決定戦

静農クラブ 21－10 大垣クラブ

▼決勝

本田クラブ 26（14－10、12－9）19 中京クラブ

〈Cブロック〉

▼1回戦

あゆみクラブ 24－6 こうよう会

名古屋クラブ 21－8 静岡城北クラブ

▼3位決定戦

静岡城北ク 12－9 こうよう会

▼決勝

名古屋クラブ 18（5－6、9－8、2－1、2－2）17 あゆみクラブ

●**機関紙委員会スタッフ**

植村繁／恩田健一／木野実／本多正樹／菅野恵理／臼井鉄久／門松真一

日本協会だより

■平成5年度第1回全国理事会

6月12日(土)　於：東興ホテル会議室
出席　渡邊副会長、中澤専務理事、
松本監事他19名

1．平成4年度事業報告承認
2．平成4年度決算(案)承認
3．平成5年度第1次補正(案)承認
前年度決算による繰越金確定およびJOCからの委託金、スポーツ振興基金からの補助金の確定に伴う補正
4．1997世界選手権大会誘致について
5．今後の財務課題について
平成5年度から検定料の改定、役員賛助会費制度の設定を図ったが、更に財政対策として平成6年度実施に向け登録料、日本リーグ加盟金改定の検討を進める。
6．日本リーグ委員会規定承認
7．IHFコーチシンポジウム（5.30〜6.3 ドイツにて開催）の報告（詳細別掲）
8．第12回アジア競技大会準備状況報告
大会まであと 500日（5.20現在)。本年度から広島アジア大会組織委員会(略称HAGOC)と連携を取りながら各種マニュアルの作成に取り組み中。
9．中体連ハンドボール部推薦評議員
加藤　正喜氏を承認

■正副議長会議

6月22日　於：新日鉄名誉会長室
出席　斎藤会長、米倉副会長、渡邊副会長、中澤専務理事
第15回世界選手権大会誘致の是非について討議、前向きに対応することとした。

■平成5年度第1回評議員会

6月26日(土)　於：日体協会議室
出席　渡邊副会長、大野監事、評議員出席22名、委任状22名、専務理事、常務理事
会議に先立ち本年度の国体開催県の香川県ハンドボール協会及び開催1市2町（高松市、香川町、綾上町）それぞれの代表の方からのご挨拶があった。
議事
1．平成4年度事業報告、承認
2．平成4年度決算報告、承認
3．平成5年度第1次補正予算審議、承認
4．第15回世界選手権大会誘致について別掲の通り1997年開催の第15回大会の誘致運動に着手することに決定
5．今後の財務課題について
報告事項
1．国体開催基準要項細則における屋外競技場の設置について
2．第2回JOCジュニアオリンピックカップ大会要項
3．国内大会の大会要項、試合結果、実施報告等日本協会への迅速な報告、届け出の徹底依頼。
4．国際交流の事前届け出、結果報告の徹底
従来は海外遠征のみ義務づけていたが関係国等からの問い合わせへの対応のために来日についても届け出を義務づける。用紙は別途準備する。
5．第12回アジア競技大会準備状況

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三三三号
昭和四十年六月七日 平成五年三月二十六日 印刷
第三種郵便物認可 平成五年八月一日 発行
東京都渋谷区神南一―一―一 編集兼
電話 代表 三四八一―二三六一
振替 東京 六―五八三四八番 発行人
中澤重夫
定価三百五拾円
（年間購読料
（三千三百円）